



▲小澤克己の句碑を囲んで（令和4年11月飯能市竹寺にて）

り続けたいと思う。

そのためには、新たな会員確保に向けた「初心者講座」と選者を育成する「研修会」は、持続可能な「爽樹」を実現するための二本柱だと考える。

昨年度から、初心者講座修了者を対象に、初心者の学びを後押しし、各句会に一日も早くなじめるよう「初心者サポート句会」を始めた。

テキスト等を用いた研修指導とミニ句会による実践的指導を通じて初心者の俳句への「たびだち」をサポートする。

また、研修会では、集団指導体制を担う選者となる者、役員となって俳句会を担う者が育つことを期待している。

研修会では、「爽樹」の理念である「情景主義」から、句会での選句の実験を体験的に学んでいる。

集団指導体制（十七人の選者）は、「爽樹」の弱みでもあり、強みでもある。弱みを消し、強みを生かす不断の努力が求められている。

「情景主義」の旗は決して降ろさずに、各句会での切磋琢磨による作品群の深化と和気あいあいの楽しい句会の実現を目指し続けるのは言うまでもない。